

**商業印刷向け自動検品ユニットが新たにバリアブル印刷に対応
品質維持と工程の省力化の両立により印刷業の業務効率化を促進**

キヤノンは、プロダクションプリンター「imagePRESS」シリーズの旗艦モデル「imagePRESS C10010VP/C9010VP」（2020年10月発売）で検品工程を自動化する「インスペクションユニット・A1^{*1}」（2021年5月発売）の機能を拡張し、新たにバリアブル印刷の自動検品への対応を本日より開始します。



imagePRESS C10010VP（赤枠がインスペクションユニット・A1）

商業印刷では、印刷後の検品など、専門的なスキルを必要とする手作業に多くの工数がかかっており、印刷工程の省力化による業務効率向上のニーズが高まっています。キヤノンは1枚ごとに記載情報が異なるDMや伝票などを印刷するバリアブル印刷の検品工程の自動化を実現し、特別なスキルに依存することなく印刷業務の手間を大幅に削減します。

■ バリアブル印刷の自動検品を実現し検査業務を効率化

自動検品ユニット「インスペクションユニット・A1」にバリアブル印刷の自動検品機能を追加しました。DMや伝票上に印刷されるバーコード・QRコードおよび英数字などの情報を読み取り、元データ（CSV形式）と自動で照合します。目視では不具合を確認できないバーコード・QRコードや、オペレーターに大きな負荷がかかる英数字の検品において、迅速な全数検品^{*2}が可能となり、検査業務の大幅な効率化を実現します。

■ 全数検品の履歴と不良画像のログを自動で保存

「インスペクションユニット・A1」は、従来は残すことが難しいとされてきた全数検品の履歴と不良画像のログを自動で保存します。印刷の依頼主に提示できるため、検品工程に対する依頼主からの信頼向上に寄与します。

製品名	希望小売価格（税別）	機能拡張開始日
インスペクションユニット・A1	280万円	2021年10月8日

※1 同製品をお持ちの場合は、システムのバージョンアップでバリアブル印刷の自動検品機能が使用可能。なお、新規の使用時は、「クリーニングユニット・A1」、「インスペクションコントローラー・A2」、電源ケーブル100V（すべて別売り）が必要。

※2 英数字のサイズやフォント、バーコード・QRコードの種類により、自動で検品できない場合があります。

* バージョンアップの作業には、別途作業費がかかる場合があります。

<「インスペクションユニット・A1」の主な拡張内容>

1. バリアブル印刷の自動検品を実現し検査業務を効率化

- 直径 0.2mm ほどの非常に小さな画像欠陥の検出や、ページごとに検査合格基準の設定が可能な「インスペクションユニット・A1」に、バリアブル印刷の自動検品機能を追加。DM や伝票上に印刷されたバーコード・QR コードおよび英数字などの情報を読み取り、元データ（CSV 形式）と自動で照合。従来は目視で不具合の確認ができず、人手によるスキャン作業や一覧表との突き合わせ作業が必要だったバーコード・QR コードや、オペレーターに大きな負荷がかかっていた英数字の検品において、迅速な全数検品が可能。不適合品は自動で再印刷され、再印刷後の検品も自動で実行。検査業務の大幅な効率化を実現。



バーコード・QR コード、英数字をスキャンし、データを自動で照合（イメージ）

2. 全数検品の履歴と不良画像のログを自動で保存

- 「インスペクションユニット・A1」は、従来は残すことが難しいとされてきた全数検品の履歴と不良画像のログも自動で保存可能。印刷の依頼主に提示でき、検品工程に対する依頼主からの信頼向上に寄与。



検品履歴（左）と不良画像のログ（右）は自動で保存（イメージ）

<「センシングユニット・A1」の主な拡張内容>

1. 画像調整の自動化ユニットが「imagePRESS C910/C810」に新たに対応

- 「imagePRESS C10010VP/C9010VP」にて表裏の画像位置と色味の調整作業の自動化を実現してきた「センシングユニット・A1^{※1}」が、新たに「imagePRESS C910/C810」に対応。印刷前の画像調整を自動化するほか、印刷中も「レジ検知マーク」^{※2}や「濃度パッチ」^{※2}をセンサーが読み取り自動補正を実施。印刷開始から終了まで高品位な印刷を安定して実現。
- オペレーターの専門的なスキルに依存せずに作業の手間や時間を削減。多種多様な成果物を受注し、多くの調整作業を要する中小規模の印刷現場の課題解決に貢献。

表裏の画像位置や色味の読み込みを行うセンサー



コンタクトイメージセンサー (CIS)



分光センサー

製品名	希望小売価格（税別）	対応機種拡張開始日
センシングユニット・A1	240 万円	2021 年 10 月 8 日

※1 「センシングユニット・A1」との接続時は、「imagePRESS Server」または「PRISMAsync」、および電源ケーブル 100V（すべて別売り）が必要。また、同製品をお持ちの場合は、本体およびコントローラーのバージョンアップで使用可能。

※2 「レジ検知マーク」や「濃度パッチ」の印字には余白が必要。余白がない場合は調整用チャートを割り込ませることが可能。

* バージョンアップの作業には、別途作業費がかかる場合があります。

<カラープロダクションプリンターの市場動向>

近年、ポスターやカタログなどのグラフィックアーツを取り扱う印刷業において、短納期やオンデマンド印刷、バリアブル印刷への需要がますます強まっています。そのため、高い生産性や高画質、幅広い用紙への対応に加え、正確な画像位置や色安定性などプロダクションプリンターに対する市場の要求はより高まっています。カラープロダクション市場向けカラープリンターの2021年の市場規模は世界市場で約5万台の規模になると予想しています。(キヤノン調べ)

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。